

平成 27 年 3 月 30 日

「中期経営計画 2015」の策定について

株式会社筑邦銀行(頭取 佐藤 清一郎)は、2015 年 4 月から 3 年間に亘り取り組む「中期経営計画 2015」を策定いたしました。

「中期経営計画 2015」では、「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」をスローガンに掲げました。これまで9年間に亘り地域の皆さまに親しまれた「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」という標語をあえて変更したのは、地域創生・活性化により踏み込んで、目に見える形で地域の繁栄に貢献していくとの当行のコミットメントを示すためです。

地域創生への貢献に当たっては、福岡に近いアジア各国の急速な経済成長力をいかに域内に取り込むかという視点が大切です。また、特に本店のある久留米市を中心とした福岡県南地域の持つ魅力ある資源(先進医療、医療観光、先進バイオ、6次化農業、伝統工芸、祭りや食と観光、子育てや教育環境に恵まれた住み易さ等)を活かしつつ、地域の豊かさをいかに次世代に引き継ぎ、さらなる発展に繋げていけるかが重要であると考えます。

こうした取り組みを強力かつ計画的に推進するため、中期経営計画の基本方針を、「営業基盤の拡充」、「地域創生への貢献」、「経営課題への的確な対応」の3つとしました。これにより、当行の収益力の強化を起点とした「地域社会・お客さまと共に成長・発展する好循環」という中期経営計画のビジョンを実現します。

当行は今後も、地銀そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

なお、計画の概要につきましては、「中期経営計画 2015」をご参照ください。

以 上

CHIKUHO BANK

中期経営計画 2015

2015年4月～2018年3月

地域を興し
ともに成長
発展する銀行

 あなたのまちの
筑邦銀行

「中期経営計画2015」のスタートにあたって

日本経済は、昨年後半の日銀の追加金融緩和、消費増税先送り、衆議院解散総選挙などを経て、デフレ脱却の正念場を迎えつつある中、いわゆるアベノミクスの第3の矢の成長戦略に沿った地方創生の真価が問われています。また地方銀行を取り巻く環境も変化を続けており、人口減少社会の中でこれからは地銀のさらなる創意工夫が求められています。このような中で当行は、平成27年4月より3ヵ年の「中期経営計画2015」をスタートさせます。

「中期経営計画2015」では、「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」をスローガンに掲げました。これまで9年間に亘り地域の皆さまや行員に親しまれた「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」という標語をあえて変更したのは、地域創生・活性化により踏み込んで、目に見える形で地域の繁栄に貢献していくとの当行のコミットメントを示すためです。

地域創生への貢献に当たっては、福岡に近いアジア各国の急速な経済成長力をいかに域内に取り込むかという視点が大切です。また、特に本店のある久留米市を中心とした福岡県南地域の持つ魅力ある資源（先進医療、医療観光、先進バイオ、6次化農業、伝統工芸、祭りと食と観光、子育てや教育環境に恵まれた住み易さ等）を活かしつつ、地域の豊かさをいかに次世代に引き継ぎ、さらなる発展に繋げていけるかが重要であると考えます。

こうした取組みを強力かつ計画的に推進するため、中期経営計画の基本方針を、「営業基盤の拡充」、「地域創生への貢献」、「経営課題への的確な対応」の3つとしました。これにより、当行の収益力の強化を起点とした「地域社会・お客さまと共に成長・発展する好循環」という中期経営計画のビジョンを実現します。

当行は前中期経営計画期間中に創立60周年を迎え、これを機に預貸金合計で1兆円の大台を超えることができました。これもひとえにお客さま、地域社会、株主の皆さまなどの永年に亘るご支援の賜物と心より感謝申し上げます。当行は今後も、地銀そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

平成27年3月

頭取 佐藤 清一郎



CONTENTS

1. 「中期経営計画2015」のスローガン	2
2. 計画期間 2015年4月～2018年3月(3ヵ年)	2
3. 中期経営計画のビジョン	2
4. 求められる行動基準	3
5. 基本方針と重点取組項目	3
[基本方針I] 営業基盤の拡充	4
[基本方針II] 地域創生への貢献	5
[基本方針III] 経営課題への的確な対応	6
数値目標	7
全体スキーム図	8

1. 「中期経営計画2015」のスローガン

「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」

当行は、地方銀行として「地域の繁栄に貢献し、ともに歩む」との信念の下、「中期経営計画2015」のスローガンを、「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」といたします。

2. 計画期間 2015年4月～2018年3月(3ヵ年)

地域やお客さまの変化に適応し、実効性ある計画とするため、計画期間を3ヵ年といたします。

3. 中期経営計画のビジョン

収益力の強化を起点として、「お客さまの満足度向上」、「地域の活性化」、「行員の成長と働きがい」が相互に繋がり合うことにより、「地域社会・お客さまと共に成長・発展する好循環」の実現に努めてまいります。

4. 求められる行動基準

○各種施策の推進に当っては、当行役職員は、

「お客さまの実情把握とお役に立つ情報の発信」

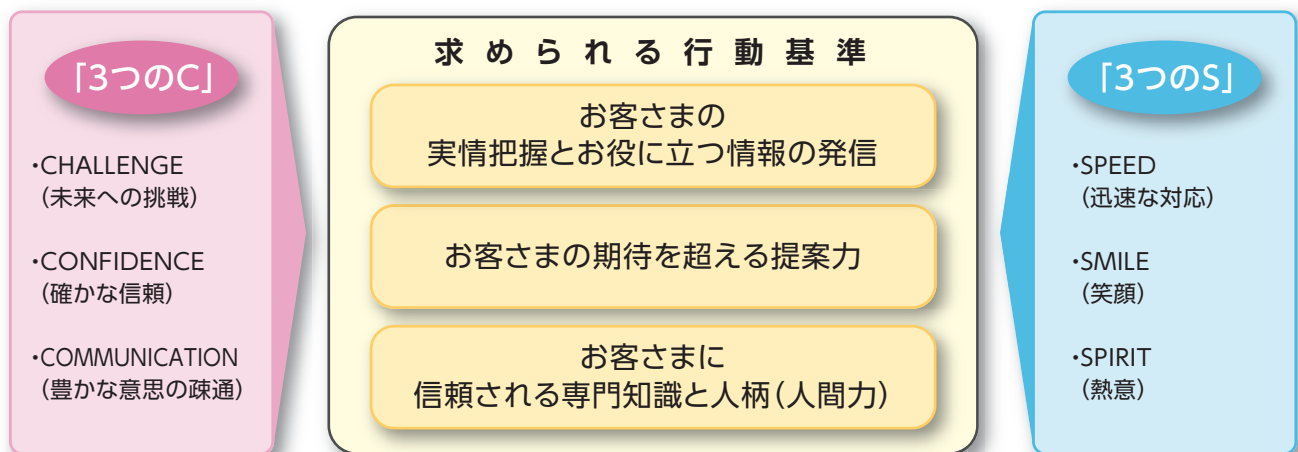
「お客さまの期待を超える提案力」

「お客さまに信頼される専門知識と人柄(人間力)」

という行動基準を徹底してまいります。

○行動基準の発揮に当っては、「3つのC」と「3つのS」を常に心がけます。

○お客さまの信頼を裏切らない高い意欲と専門知識を持った人財を育てることを目的として、「自ら学び、考え、行動する企業風土」の醸成にも努めてまいります。



5. 基本方針と重点取組項目

目標達成に向けて、「営業基盤の拡充」、「地域創生への貢献」、「経営課題への的確な対応」を3つの基本方針として、9項目を重点取組項目として掲げます。

[基本方針I] 営業基盤の拡充

より多くのお客さまと
お取引いただける態勢づくりに努めます

● 全員営業態勢の徹底

営業態勢の見直しにより、渉外人員の増強や渉外活動時間の拡充を通して、これまで以上にお客さまとのリレーションを深めてまいります。

お客さまをより深く知り、お客さまの期待を超える提案力を発揮し、経営課題解決等のお役に立つことで、お客さまから「筑邦銀行と取引してよかった」とご満足いただけるよう努力してまいります。

● 運用力の強化

当行の持続的成長の基盤となる預金および預かり資産取引を増強するとともに、新たな収益機会への取組みを進めます。

貸出金の増強に引き続き取組むとともに、歴史的な超低金利が続くという経営環境の下では、市場部門による運用力が一段と重要性を増すことから、運用商品の多様化やALM管理の強化により収益の拡大を図ってまいります。

● グループ総合力の発揮

多様化かつ高度化するお客さまのご要望にお応えするため、関連会社を含めた当行グループは、総合金融サービス業としての総合力を発揮し、お客さまに対する情報提供や経営課題解決のサポートに取り組んでまいります。

[基本方針Ⅱ] 地域創生への貢献

地域の活性化に向けて、
産・官・学・金の強固なネットワークを駆使します

●専門部署によるサポート力の強化

専門部署を立上げ、地域が抱える課題等に正面から向き合い、地域発のプロジェクト等に企画段階から積極的に参加することにより、地方公共団体等と一緒にあって地域の活性化を強力にサポートしてまいります。

●地域資源の掘り起こし

地域のポテンシャルを再度検証し、地域に埋もれている魅力ある資源や技術等を掘り起こし、事業化のためのコンサルティング機能を発揮してまいります。

●起業・創業への積極的な関与

起業・創業しようとするお客さまに対しては、起業・創業資金のご相談、ご融資や公的な支援制度等の紹介・活用を通して、地域での起業・創業を支援するほか、その後のお客さまのライフステージに応じた最適な課題解決策を提案してまいります。

[基本方針Ⅲ] 経営課題への的確な対応

環境の変化等による 様々な経営課題に対して全行挙げて取り組みます

●ダイバーシティの推進

多様な人財が能力を最大限に発揮できる環境を整備することで、行員の働きがいと成長を支援してまいります。

管理職への登用等を通し、女性行員の活躍機会を拡大するほか、女性や外国人等の視点を活かした商品やサービスの開発・提供に取組み、お客さま満足度の向上に努めてまいります。

●事務合理化の徹底

営業店での業務プロセスの見直しや事務の本部集中化等により、営業店事務の合理化、効率化を推進することで、渉外活動時間を増加させ、お客さまとの接点を拡大・充実し、行員一人当たりの生産性の向上を図ってまいります。

●持続的な株主還元

安定収益の確保による株主還元に努めるとともに、株主の皆さまへの感謝の一環として既に実施中の株主優待制度の充実に努めてまいります。

中計最終年度の数値目標 [2018年3月期]

単体

1	預金等(期中平残)	7,000 億円 以上
2	貸出金(期中平残)	4,500 億円 以上
3	実質業務純益	22 億円 以上
4	当期純利益	10 億円 以上
5	自己資本比率	8.0 % 以上

数値目標用語の説明

実質業務純益

預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれる利益である業務純益から、一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、銀行の実質的な利益です。

当期純利益

全ての収益から法人税等を含む全ての費用を控除した税引き後利益であり、最終利益とも言われます。

自己資本比率 (国内基準)

総資産に対する自己資本(純資産)の割合により、企業の健全性を示す重要な指標の一つで、金融機関の場合、銀行法等に定めるリスクアセット方式により算出した比率が一般的です。当行は国内基準を採用し、現時点では4%以上が必要です。

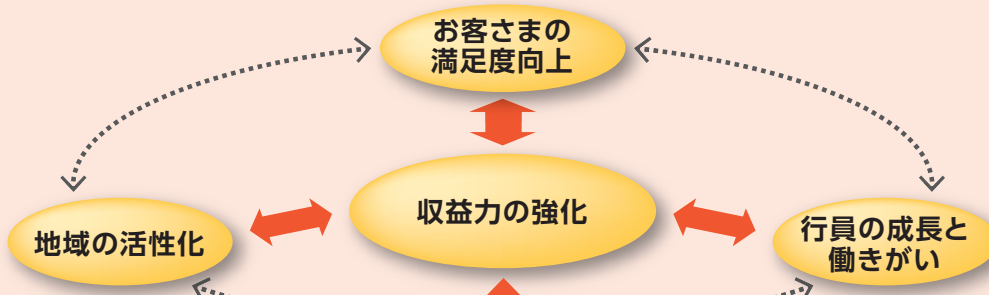
中期経営計画2015の全体スキーム

中期経営計画の
スローガン

地域を興し、ともに成長・発展する銀行

中期経営計画の
ビジョン

地域社会・お客さまと共に成長・発展する好循環



求められる
行動基準

お客さまの実情把握と
お役に立つ情報の発信

お客さまの期待を
超える提案力

お客さまに信頼される
専門知識と人柄(人間力)

3つのC
・CHALLENGE
・CONFIDENCE
・COMMUNICATION

3つのS
・SPEED
・SMILE
・SPIRIT

計画達成に
向けた基本方針

3つの基本方針

地域創生への貢献

専門部署による
サポート力の強化

地域資源の掘り起こし

起業・創業への
積極的な関与

営業基盤の拡充

全員営業態勢の徹底

運用力の強化

グループ総合力の発揮

**経営課題への
的確な対応**

ダイバーシティの推進

事務合理化の徹底

持続的な株主還元

環境変化に応じた柔軟な組織の見直し

重要課題への対応

外部環境への適応

基本方針の下で
実施する
重点取組項目

本資料には、将来の業績等に関する記述が含まれています。これらの記述は、将来の業績等を保証するものではありません。今後、経営環境の変化等により、変更される可能性があることにご留意ください。また、本資料は当行の経営計画に関する情報提供を示したものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。



あなたのまちの

筑邦銀行

<http://www.chikugin.co.jp>



あなたのまちの

筑邦銀行

<http://www.chikugin.co.jp>